

## 妙義山 山行報告書

【日程】5月29日(日) 前夜発

【メンバー】CL 前田(記) SL 萱野香 鈴木玲 小原(記)

【山域】西上州／妙義山

【行程】妙義神社 6:15～大の字～相馬岳 9:00～堀切 10:15～金鷄橋駐車場 11:15

事前の打ち合わせでなぜか出発時間がどんどん繰り上がり、21時から19時出発となる。

呑み倒したいのか？10時間行動予定なので早く寝たいのか？

どちらにしろ前夜からやる気はマンマンだ！

道の駅みょうぎにテントを張らせていただき、もつ煮で宴会をしていると、広い敷地内車もまばらでスッカスカなのに何故か真隣に男性グループがテントを張り出す。

明日に備え真面目な？私たちは12時にお開きとするが、真隣テントは盛り上がっている。

注意する程の音量でもなかったなので、そのまま就寝した。

5時起床予定でしたが真隣テントは4時半前から動き出しており、目が覚めてしまう。

起き上がろうとすると肋骨左側が痛い！数日前から肋骨周りに引き攣るような違和感があったのだが、なんだかイヤ～な痛みだ。

真隣テントさん達も妙義縦走予定との事、鷹戻しのはしご破損があり通行止めになっているので、どう行くか検討中だという。

私たちも鷹戻し手前までとりあえず偵察に行ってみるか、またはその先、東岳までの間のエスケープルートが登り返しできそうならそこから行くか、はたまた堀切から早々に下ってしまうか、決めかねていた。

真隣テントの方に写真撮影をお願いし、お先に～と元気に出発！

登山道に入り程なくこんなところに鎖なくてもいいのに～といった場所で、腰をかがめ鎖を掴んだところ、左肋骨からみぞおちにかけて痛みが走る。

大の字上り口、恐る恐る左手で鎖をつかみ上がると激痛が！岩を掴んでみてもプッシュして上がろうとしてもダメ！もうどうやっても声が出ちゃう程の痛み！だめだこりゃ！！

簡単な上り口でこの状態だとこの先の道のりは無理と判断し、皆にひとり下山することを告げ、しばし涙のお別れとなった。

楽しみにしていたのに残念、ひとり寂しくトボトボ下る。みんながいなくなったというのもあったのか下りの間中、心も体も痛くて痛くて仕方なかった。

私も怒涛の勢い！噂のレイザップに入会して結果をコミットしたかった。笑 (小原・記)



出発〜♪



通行止め、さあどうしましょう



大の字



涙のお別れ

大の字を過ぎると鎖場が出てくる。ミニあんパンサイズの岩がボコボコとくっついたような岩場で、鎖を持ちつつ三点支持ができるので、恐怖感なく登ることができる。呼吸はゼエゼエ、足も重いけれど楽しい。鎖場が少しあって巻き道、のぼっておりの繰り返し。前のピークで、後パーティーの人たちが手を振っている。

「さっきの鎖場降りたのはあそこか〜^^」

後パーティーの方は人数が多かったなので、鎖場で時間がかかっていたみたいだ。破線ルートのコースタイムは人数と岩場慣れしているかで大分違ってくるらしい。

稜線に出ると隣りに見える、縦割れした岩稜の裏妙義がカッコいい。

とんかち岩が「こっちもいいよ～」と言っている気がする。

うーん、さすが妙義。ギザギザの勾配に私(前田)とかおちゃんは、ひーこらひーこら。

先頭に行く玲さんがあまりに軽やかなので、羽が生えているのでは？また鎖場では特殊部隊で地獄のような訓練を受けてきたのでは??と思う。これはレイ(玲)ザップに入会しなきゃだ。



レイザップトレ開始!



入会中、楽しそう♪



ひーこら言っているようには

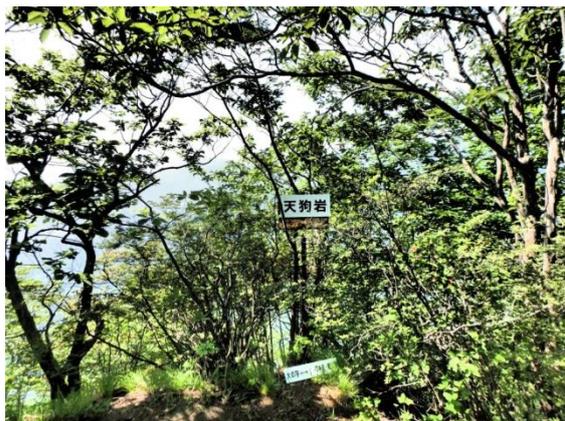


見えません

せめてもの救いが、炎天下を予想していたけれど稜線を行くことはほとんどなく、樹林帯の木陰を進めたことかしら。葉っぱのみどりがとてもきれいでね。

予定では白雲山で下山も考えていたのですが、相馬岳へ行き、更には堀切まで進むことに。妙義山の一番高い所、相馬岳でごはんをたべる。前夜からお腹いっぱい続きで、(当初予定)10時間分の行動食はなかなか減らない。

汗でびしょびしょだったけれど、止まると急に寒くなってきた。小原さんもさびしくて泣いているかもしれない。出発だ。



天狗岩



相馬岳

鎖のない岩場も出てきて、岩の真ん中に矢印が書いてあったりするけれど、よくみて安全で降りやすいところを行った方がよさそう。皆が通るせいか、岩が減っているようなところもありました。

茨尾根の赤土のザレ場の下りも落石しやすく、踏ん張りもききにくくて恐かった。



ザレザレ



鷹戻し通行止めで今回は下山

堀切に到着。通行止めの鎖と看板あり。朝から他パーティーの人とあつては鷹戻し通行止めの話題になったのですが、皆どうしたのかは分からずじまい。私たちは、またの機会にと下山することに。



まだ 11 時だよ、おかえり♡

昼一番、ふれあいプラザでゆ〜っくりゆ〜ったり湯につかって、ごろごろする。  
みなで過ごせて楽しかったです。ありがとう。  
またね〜妙義山^^

(前田・記)

そこで小原さんと連絡をとる。あばらは気になるものの、立派なきのこを買ってご機嫌みたいだ。よかったよかった。

小原さんに妙義神社に停めてある車をまわしてもらって、予定より早めに待ち合わせる。中間道近くになるとたくさんの人たちとすれ違う。東屋から金鶏橋への分岐は獣道ともとれるような道でした。木に白いペンキでゴニョゴニョと書いてあるのですが…。GPSを頼りに不明瞭な踏みあとをししばらく行くとしっかりとした道に。

けれども、石の上に落ち葉と足場が悪くて、小走りに、というか、ひとり止まらない。下の東屋に沢山の学生さんたちと、小原さんが^^お久しぶりの小原さんと一緒に駐車場までしばらく歩く。